

各 位

2021年11月22日

会 社 名 株式会社メガチップス
本 社 大阪市淀川区宮原一丁目1-1
代 表 者 名 代表取締役社長 肥川 哲士
(コード番号 6875 東証第一部)

BrainChip 社とメガチップスとの戦略的パートナーシップ締結

(超低消費電力かつ高性能な AI ソリューションの提供を開始)

記

この度メガチップスは、豪州の超低消費電力かつ高性能な人工知能技術の提供をベースとした AI ソリューションプロバイダーである BrainChip Holdings Ltd (豪州、以下” BrainChip 社”という) と戦略的パートナーシップを結び、BrainChip 社の有する次世代のエッジベース AI ソリューション、BrainChip Akida™ IP を取得したことを発表します。この提携を通して、両社は BrainChip Akida™ IP を活用し、ホームオートメーションやリモートコントロール、産業用 IoT、ロボット、セキュリティカメラ、センサー、無人航空機、自動走行車、医療機器、物体検知、音検知、匂いや味の検知、ジェスチャーコントロール、サイバーセキュリティなど独自の革新的な製品を顧客に提供することが可能となります。

メガチップスは、IoT 市場の拡大を鑑み、エッジにおける AI ソリューションの提供をいち早く実現します。この先行的な取り組みとして BrainChip 社との戦略的パートナーシップを締結し、以下のような取り組みでエッジ AI 市場の革新に貢献します。

- ・ 日本初の商用 AI チップの市場投入
- ・ BrainChip 社のシリコンパートナーとして革新的な LSI の開発
- ・ ジョイントマーケティングによる新市場の創造

メガチップスの代表取締役社長である肥川 哲士氏は「この戦略的パートナーシップにより、自動車、IoT、カメラ、ゲーム、産業用ロボットなどの市場において、Akida の革新的な技術を当社の ASIC ソリューションサービスに組み込むことで、容易に高性能、小型、超低消費電力を実現し、顧客の課題解決に貢献します。今後のメガチップスの新規事業の拡大に大きく寄与することを期待しております。」と話しました。

BrainChip 社のワールドワイドセールス&マーケティング担当副社長である Rob Telson 氏は、「MegaChips 社と BrainChip のパートナーシップは、前例のない製品を提供するという両者のミッションをさらに強化するものです。」と述べています。「MegaChips 社の ASIC ソリューションに、Akida のオンチップ学習機能と超低消費電力のエッジ AI 機能を統合技術として提供することで、精度を落とすことなく電力消費を抑えられます。また、エッジからクラウドへデータを運ぶことなく、自律的に逐次学習を進めることができるため、エッジに実用的な最新機能を導入できます。これは、ビジネス面だけでなく、業界を変えるという観点からも非常に楽しみなコラボレーションです。」と話しました。

メガチップスについて

メガチップスは、日本で最初の『システム LSI のファブレスメーカー』として 1990 年に創業以来、研究開発に特化して独自技術を磨き独創的な LSI を開発してきました。急速な情報技術革新により市場ニーズが複雑化する中、独自のアナログ・デジタル技術を駆使した IC、SOC を、設計から開発、生産までトータルソリューションでグローバルに提供していきます。メガチップスは車載、産業機器、5G 通信インフラと FA のような成長分野に注力していきます。

<https://www.megachips.co.jp/>

BrainChip Holdings Ltd について

BrainChip 社は、人工知能を他の製品よりも優れた形で実現する、画期的なニューロモルフイック・プロセッサを製造している世界的なテクノロジー企業です。本技術は高性能、小型、超低消費電力で、オンチップトレーニング、学習、推論を含む幅広いエッジ機能を実現します。イベントベース・ニューラルネットワーク・プロセッサは、人間の脳のスパイクの性質にヒントを得て、業界標準のデジタルプロセスが実装されています。BrainChip 社は、AKIDA™ と呼ばれる処理アーキテクチャを開発し、エッジデバイスの要求にこたえるための拡張性と柔軟性を備えています。エッジでは、センサーの入力はクラウドを経由してデータセンターに送信するのではなく、取得した時点で分析する。AKIDA は、視覚・オーディオ・嗅覚・スマートトランスデューサーなどのアプリケーション向けに、完全な超低消費電力かつ高速の AI エッジネットワークを提供するよう設計されています。システムのレイテンシが低くなることで、レスポンスが早くなり、より電力効率の高いシステムとなり、データセンターの大きな二酸化炭素排出量を削減することが出来ます。

<https://www.brainchipinc.com>

【当プレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社メガチップス

担当：財務部 三宅 正久

メール：miyake.masahisa@megachips.co.jp

TEL：06-6399-2884（代表）

以 上